

I

出典『コミュニケーションの日本語』（森山卓郎）岩波ジュニア新書

ことばによるコミュニケーションにおいて、文化的な背景がどの程度関係するかを説明しています。文どうしの関係、また段落どうしの関係を把握することがポイントです。

問1【漢字問題】（解答番号は1～10）

本文中で使われた漢字を最初に示し、その後にa～eの正答率を示しておきます。

- a 拡張（94%）
- b 帰属（61%）
- c 反映（44%）
- d 特性（87%）
- e 配慮（94%）

問2【文脈把握問題】（解答番号は11）

空欄【甲】の個所を含む段落、その次の段落の主旨を理解しているかがポイントです。正答は⑤です。正答率は50%でした。

問3【文脈把握と第三節の内容理解に関する問題】（解答番号は12）

空欄【乙】の部分は節の途中にあります。この直前の部分に「挨拶の動きを考える上で少しおもしろいのは」とあることから、この段落の内容だけでなく、この節全体の主旨を表している個所であるといえます。したがって、空欄【乙】以降の文章全体を読まないで、正答を探し当てることはできません。①が正答です。正答率は35%でした。

問4【内容把握と熟語の意味、および漢字問題】（解答番号は13・14）

空欄【I】は②が正答です。①が紛らわしいですが、「挨拶言葉の言語は、言語によって違っています」は当たり前のことを言っているにすぎません。空欄【II】は①が正答です。他はいずれも文脈および文の内容に合致していません。正答率は空欄【I】が57%、空欄【II】が63%でした。

問5【内容把握問題】（解答番号は15）

正答は②です。①は「相手のことに特に関心があるわけでもない場合に」の部分が不適切です。③は「いかなる場合であつても」が不適切です。④は日本語で「どちらへお出かけですか?」という直接的な質問が可能であることから不適切です。⑤は「病院へ行く」としていることが予想される時には」という個所が不適切（常識的に考えて、普通は予想できない）です。⑥は「ほとんどの場合」、「多くの場合」という個所が本文の内容と合致せず、不適切です。正答率は80%でした。

問6【内容把握問題】（解答番号は16）

前後の内容を含めて要旨が述べられている③が正答です。正答率は94%でした。

問7【内容把握と第四節の内容理解に関する問題】（解答番号は17）

⑤が正答です。①は「時間帯によって表現の仕方が異なるという点でよく似ている」という個所が不適切です。②は「相手に対する言語や文化の違いを考えなくてもよいという類似点がある」という個所が不適切です。③と解答した受験者が多く見られましたが、「相手の邪魔をしているという認識をもっていなければならない」という部分が、本文中の第四段落十一行目「もちろん、本当に耐っているわけではありません」という部分と矛盾しています。④は日本語の「もしもし」の由来しか説明していないので不適切です。正答率は44%でした。

問8【本文の内容全体について理解を問う問題】（解答番号は18）

問題文全体の内容を簡潔に述べている④が正答です。①は「挨拶をするべきではない」が不適切です。②は本文中に記されていない内容です。③は挨拶の態度と相手への気遣いの優先順位について言及しており、やはり本文で言及されていません。⑤は「世界には共通した挨拶表現があるが」の部分が不適切です。正答率は76%でした。

II

出典『オトコの進化論』（山極寿一）ちくま新書

論理の筋道を「全体」と関連つけてきちんと読めば、筆者の意図は理解できます。長い文章を適当にとばし読みをして、自分勝手な解釈に陥らないようにしましょう。

問1【漢字問題】（解答番号は19～28）

本文中で使われた漢字を最初に示し、その後にa～eの正答率を示しておきます。

- a 恒常（41%）
- b 重複（67%）
- c 障壁（78%）
- d 摂取（94%）
- e 察知（85%）

問2【文と文のつながりを考えさせる問題と副詞の使い方の問題】（解答番号は29～31）

空欄Ⅰの正答は同格の「つまり」です。空欄Ⅱは前後の文脈から考えて逆接が入ります。空欄Ⅲは結びの語句「なかったのだろうか」から導き出せます。

問3【他の段落から内容を考える問題】（解答番号は32）

後ろの段落で説明されている「果実食」に関する記述がヒントです。

問4【文脈把握を試した問題】（解答番号は33）

前段落にある「一緒に暮らさないという原則のもとに成り立っている」と空欄の後ろにある「警戒心を解いて一緒に行動する」がヒントです。「融合」や「接触」では意味が異なります。

問5【後の説明を理解できたかを問う問題】（解答番号は34）

後ろにある説明の「オスたちだけがいつしよになれば」と「メスたちだけなら」から「同性」が導けます。正答率は50%と低かったです。

問6【段落のつながりを見出す問題】（解答番号は35）

正答は後ろの段落の初めの「人間の社会もその一つ」からわかるはずです。

問7【要約問題】（解答番号は36・37）

36の正答率は65%です。ここで「社会」を入れてはいけません。集団の「進化」したものが「社会」になるという筆者の意図を理解しなければなりません。